

# Rotary Club of AMA weekly report.



2020~2021年度  
国際ロータリーテーマ

ロータリーは  
機会の扉を開く

Rotary opens Opportunities



2020-2021年度 RI会長 ホルガー・クナーク  
第2760地区ガバナー 岡部 務  
会長 山田 尊久 副会長 稲垣 秀樹  
幹事 池崎 晴美  
例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル  
【公共イメージ向上委員会】  
委員長 大西 晃弘 副委員長 後藤 裕一  
加藤憲治・光岡正彦・渡辺 均・山田幹夫

【事務所】〒453-0015 名古屋市中西区椿町17番16号 丸元ビル TEL (052)451-6617 FAX (052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

## 2020年 10月 19日(雨) 第3週 第2325回例会

**Guest** 米山奨学生 ディア・ラマワティ・トハリさん

### Attendance

会員	70名	欠席	11名	出席率	82.26%
----	-----	----	-----	-----	--------

**President Time** 山田尊久 会長



皆さん、こんにちは。今日は秋の音楽会です。フェデリコ・アゴスティーニさん、野田枝里さん、ようこそあまRCへお越しくださいました。今日はよろしくお願ひします。会員の皆様そして奥様方にも多数ご参加いただきました。本当にありがとうございます。

昨年より会長方針のテーマの一つに、「ロータリーと共にみんなで歌おう」を掲げ準備をしてきました。しかし残念な事に今は少し辛抱が必要です。

私事ですが、私は入会と同時にあまRCのコーラス部コーン・スイーツの一員にさせていただきました。年を重ねるごとに歌うことが楽しくなりました。全国親睦合唱祭では、舞台の中央で歌う時など、もう気分は最高になります。音楽の力は、みんなの気持ちを一つにしてくれる魔法の力

のように私は感じています。先日、10月7日、愛知県芸術劇場コンサートホールにて、県立芸術大学音楽学部の第53回定期演奏会が開かれました。優秀学生による作品発表・独奏・独唱の後、客員教授のアゴスティーニ先生をお迎えしてヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、チェンバロの18名ほどの学生の皆さんと一緒に弦楽アンサンブルの演奏を聴く機会がありました。私の指定席は、ちょうど舞台の横の2階席です。演奏者一人一人のしぐさが目の前でよく見えます。2階の舞台の上から見ておみると、先生が演奏しながら時々後ろを見ながらリードされている様子が手に取るようにわかりました。ああこうしていつも学生の皆さんを指導されているのだと、そのやさしさに触れることができました。そして、素晴らしいヴァイオリンの奏でるメロディーに生きる元気をいただいたようでした。

もう一つ皆さんにお話したいことがあります。私がロータリーのことが大好きになった一番の要因と申しましうか、それは野田佳予子先生の力強いピアノの伴奏で、毎週例会でロータリーの歌を歌うこと、そしてピアノの心地よいメロディに触れながらの日常が大きく影響していると思っています。ピアノの音を聞かたびに自然に心が癒されます。

<b>Today</b>	10月26日(第2326回)
担当	田邊正紀 プログラム委員長
演題	卓話「疫禍と歴史」 国立病院機構鈴鹿病院名誉院長 小長谷正明氏
<b>Next Week</b>	11月 9日(第2327回)
担当	山田尊久 会長
演題	ガバナー公式訪問 岡部 ガバナー(名古屋北RC)

そしていつか自分でも弾いてみたいと思うようになりまし  
た。今日はその野田佳予子先生と娘さんの野田枝里さん、  
そしてご主人のフェデリコ・アゴスティーニ先生のコラボ  
レーションです。きっと皆さんの心に響くものがあると思  
います。今日は、ご出席の皆さん一人一人と演奏者の皆さ  
んが一体となって音楽を通じて感動を共有したいと思いま  
す。どうか最後までよろしくをお願いします。それでは、こ  
れで私の挨拶といたします。有難うございました。

## ニコボックス

### ご投函有り難うございます

山田尊久 会長

秋の音楽会、みんなで楽しみましょう。

稲垣秀樹 副会長

秋の音楽会、ミニコンサート演奏者の皆さん、素敵な  
音色で音楽力をいただきます。

美食・行楽シーズンです。感染対策を十分とって、お  
でかけしましょう。

ニコボックス委員会の皆様、ご苦労様です。

池崎晴美 幹事

秋の音楽会、ミニコンサート演奏者の皆さん、素敵な  
音色で音楽力をいただきます。

古川 宏君

紅葉の秋、そぼ降る雨の中、今日はフェデリコ・ア  
ゴスティーニと野田さん親子のヴァイオリンソナタを  
聞く事が出来ます事、最高の幸です。世界的に有名な  
ヴァイオリニストです。楽しみにしておりました。

木下章吉君

伊藤英毅君、先日はお世話になりました。有り難うご  
ざいます。

伊藤英毅君

本日は楽しませていただきます。

加藤 徹君

土曜日にヴェネツィア映画祭受賞作「スパイの妻」を  
観てきました。ある場面での解釈が妻と異なりまし  
た、妻の意見に従ったのは言うまでもありません。

鈴木與左衛門君

先週の金曜日、第1回クラブ国際奉仕委員長会議に、  
前年報告を前国際奉仕副委員長の児玉君にお願  
いし、

また当クラブからは国際奉仕委員長の神戸君に出席い  
ただきました。会議は大変上手く進行し、岡部ガバ  
ナーからもお褒めいただきました。出席の皆様、お疲れ  
様でした。

高山 敏君

秋の音楽会、ミニコンサート演奏者の皆さん、素敵な  
音色で音楽力をいただきます。

いよいよ地区補助金事業「教室で森を育てよう」が始  
まります。

田中正博君

野田先生のミニコンサート、楽しみにしていました。

北野庸夫君

野田さん、ご家族で本日は有り難うございます。よろ  
しくお願いたします。

黒野晃太郎君

音楽例会楽しみです。

水野 眞君

今日は野田さん、有り難う。楽しませていただきます。

中澤浩一君

秋の音楽会、ミニコンサート演奏者の皆さん、素敵な  
音色で音楽力をいただきます。

いよいよ地区補助金事業「教室で森を育てよう」が始  
まります。

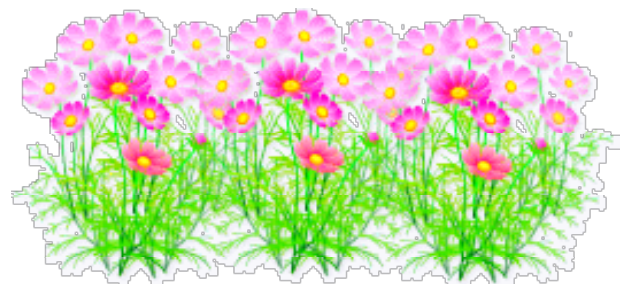
酒井和雄君

奥様、久しぶりにRCへ来れました。

小倉廣三君

いよいよ地区補助金事業「教室で森を育てよう」が始  
まります。

合 計 41,000円



# 音 楽 例 会

～フェデリコ・アゴスティーニ～

ヴァイオリン：野田 枝里  
ピアノ：野田佳予子



プログラム

二つのヴァイオリンのためのソナタ

第5番ホ短調 作品 3-5 ルクレール

I. Allegro ma poco

II. Gavotta gracioso

III. Presto

チャールダーシュ モンティ

ユーモレスク ドヴォルザーク

浜辺の歌 成田為三

フェデリコ・アゴスティーニ

ヴァイオリニスト

元イ・ムジチ合奏団 コンサート・マスター

イタリア・トリエステ生まれ。音楽家の家庭に育ち、6歳の頃から、祖父よりヴァイオリンの手ほどきを受ける。トリエステとベネチアの音楽院、さらにシエナのキジアナ音楽院で学び、サルバトーレ・アッカルドや叔父のフランコ・グッリらに師事する。16歳でカルロ・ゼッキ指揮のもと、モーツァルトの協奏曲を弾いてデビュー。数多くのコンクールで優勝・入賞がある。1986年から伝説的なイタリアの合奏団「イ・ムジチ合奏団」のコンサートマスターを務め、1987年からはローマ・フォーレピアノ五重奏団のメンバーとしても活躍する。2004年よりアミーチ弦楽四重奏団の第一奏者として活躍。ヨーロッパ、アメリカ、日本など、世界各地の国際音楽祭に招聘され、室内楽奏者

として、ブルーノ・ジュランナ、ジェイミー・ラレド、練木繁夫、ジョゼフ・シルバーシュタイン、ヤーノシュ・シュタルケル、堤剛、渡邊康雄、アメリカ四重奏団、エマーソン四重奏団、ファインアーツ四重奏団、東京四重奏団、グアルネリ四重奏団などと共演。ドイツ・トロッシンゲン音楽大学で10年、アメリカ・インディアナ大学で10年、ロチェスター大学イーストマン音楽院にて7年間教授を務める。日本、スウェーデン、イタリア、メキシコ、オーストラリア、香港などでもマスタークラスを開催。東京藝術大学客員教授を経て、現在、愛知県立芸術大学の客員教授、および洗足学園音楽大学の客員教授を務める。



野田枝里：ヴァイオリン

名古屋市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校、および東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同大学2年の時、ロンドンのロイヤル王立音楽院へ留学。ジョルジュ・パウク氏に師事。同音楽院でディプロマ（最優秀賞付き）を修得し卒業。ロンドンの日本大使館にて演奏。全日本学生音楽コンクール名古屋大会3位を2年連続で受賞。霧島国際音楽祭・大曲新人音楽祭にて各奨励賞受賞。日本クラシック音楽コンクール全国大会2位。東京文化会館新人音楽家デビューオーディション合格、同会館にて披露演奏会に出演。日本、アメリカ、イギリス、イタリア、フランス、



韓国の各国で室内楽のコンサートに招かれ演奏。南フランス・アントレカストー国際音楽祭、フロリダ・サラソタ国際音楽祭、プエルトリコ国際音楽祭に招かれ、国際的な奏者と室内楽を共演。ブルーノ・ジュランナ、アラン・ムニエ、各氏と室内楽を共演。NHK・TV、NHK・FM、テレビ東京等に出演。東京弦楽合奏団、しらかわアンサンブル、アンサンブル東風、エヴァンスヴィル管弦楽団の元メンバー。これまでに澤和樹、故近藤フミ子、水野佐知香、木野雅之、ジョルジュ・パウクの各氏に師事。国立音楽院、米国ホックシュタイン音楽院の講師を経て、現在、桐朋学園大学音楽学部子どものための音楽教室名古屋支部にて後進指導。

野田佳予子：ピアノ

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。名古屋音楽学校講師、愛知淑徳大学エクステンションセンター講師を経て、現在フリーピアニスト。ピアノソロ、室内楽の他、FM愛知出演、声楽、合唱の伴奏、成人大学教養講座など、多彩な演奏活動を行う。第7回西三河ピアノオルガン独奏コンクール1位、第1回愛知県ピアノコンクール2位、第20回毎日学生音楽コンクール（全日本学生音楽コンクール）ピアノ部門で西日本3位、など入賞多数。杉浦日出夫、故小津恒子、水本雄三、ケマーリングの各氏に師事。愛知ピアノ研究会会員。元名古屋市緑区文化協会洋楽部会員。ピティナ名古屋みどりステーション代表。



# I MUSICI

「イ・ムジチ」とはイタリア語で〈音楽家たち〉を意味する。1952年、12人の若く才能溢れるサンタ・チェチーリア音楽院の卒業生たちによって結成。編成は、ヴァイオリン6人、ヴィオラ2人、チェロ2人、コントラバス1人、そしてハーブシコード。同年3月30日、彼らの公式デビュー・コンサートがサンタ・チェチーリア音楽院で行われ、大成功を収めた。翌4月、ラジオ放送用にリハーサルしているイ・ムジチを聴いたトスカニーニが、ジャーナリストの前で彼らについて熱く語り、白らの写真に『素晴らしい！絶品だ！まだ音楽は死んでいなかった！』という言葉を送って彼らに贈った。まさにこのときが、その後の驚異的な数々の成功の始まりであった。彼らの録音したヴィヴァルディの『四季』は世界中で空前のバロック・ブームをもたらし、日本でも記録的なセールスを記録した。結成以来半世紀余、イタリアの高く突き抜ける青空のように明るい彼らのサウンドは、今も世界中の人々の心を幸福感で満たし続けている。2011年には結成60年記念ツアーを世界で行い、日本でも23公演を開催、新たなイ・ムジチ旋風を巻き起こした。60年以上の歳月が流れ、時とともにメンバーの入れ替わりがあっても、イ・ムジチの織りなすサウンドは色あせることはない。今もなおイタリアや世界のバロック音楽界における最も名高い楽団のひとつであり、日本での人気も高い。主にバロック音楽をレパートリーとしているが、モーツァルトなどの古典派作品や、映画音楽も手がけている。